



Air Force

S e r i e s

The Reference Turntable

空気の力《Air Force》で アナログ再生の真髄をきわめる!

アナログターンテーブルの大敵
有害な不要振動を
空気の力《Air Force》で徹底排除。

■音楽は人々を感動に浸らせる素晴らしい空気の振動です。アナログ録再はこの空気の振動による音の波形を、そのままレコード盤のミクロの音溝の中に刻み込みそして再びその音溝から波形をピックアップし素晴らしい空気の振動として再現する、実に高精度な振動の系です。その中でターンテーブルは、レコード盤に刻まれた音楽の波形をカートリッジにピックアップさせ、空気の振動として再現させるこの系の要と言うべきもの。極めて微小なミクロの振動を扱うがゆえに、有害な不要振動の排除には徹底した姿勢で臨まなくてはなりません。

■TechDASの《Air Force》シリーズ・アナログターンテーブルは、有害な不要振動の排除をスプリングや緩衝材に委ねるのではなく、音楽のエネルギーと同じ空気の力《Air Force》を積極的に利用しておこなう、画期的とも言える設計を展開しています。十分な質量を備えかつ高精密に仕上げられた各部材と、この空気の力による制振設計により、レコード盤に刻み込まれたミクロの音楽波形を、何も加えず何も引かずにピックアップさせる究極のメカニズムです。

すべてのモデルに共通する、設計の基本をなす二つの《Air Force》、
エアーベアリングとディスク吸着。

■ターンテーブルにとって最も重要なことは、正確で静粛で安定した回転の確保です。安定した回転のためには十分なイナーシャ(慣性)が必要なことから、ターンテーブルプラッターは重量級であることが必要であり、TechDAS《Air Force》シリーズ各モデルのプラッターも後述するように相当な重量級です。しかし反面、重量級プラッターは軸受けにかかる荷重も大きく、いかに高精度な軸受けであっても次第に

ダメージを受け、精度が低下して摩擦音や回転ムラなどを生じることになりがちです。

■TechDAS《Air Force》シリーズでは、このような一般的な軸受け機構を必要としない、TechDAS独自のエアーベアリング方式を採用しています。ベースとなる平面研磨したガラス板上に載せられたプラッターは、単に位置決めのためのセンターシャフトに合わせて置かれているのみで、一般的な軸受けは持たず、この状態ではプラッターはベース上に完全に設置しており微動だにしません。しかし、付属のエアーポンプからの空気が送り込まれると、瞬時にして重いターンテーブルプラッターがベースからわずかに浮き上がり(0.03mm程度)、エアーベアリング効果による、極めて静粛な回転が可能になります。もちろんプラッターの荷重は軸受けに一切かからないため、摩擦音の発生や摩耗による経年変化もなく、メンテナンスフリーで初期性能を維持します。

■また、いかにプラッターが正確で静粛な回転をしたとしても、その上にセットしたレコード盤が反っていてトーンアームが上下

動するようでは、高精度な信号ピックアップは望めません。これはカートリッジにとって極めて過酷な条件となるばかりか、アームの上下動で生じる針先の沈み込みや浮き上がりは大きな低周波信号を生み、再生の忠実度を損なうさまざまな要因となります。

■TechDAS《Air Force》シリーズは、このレコード盤面の問題を空気の力《Air Force》によるレコード盤吸着機構で解決しています。プラッター上にレコード盤をセットし SUCTION ボタンを押すと、プラッターを浮上させたまま同時にレコード盤をプラッターに吸着します。これにより、反りのあるレコードでも一瞬にしてまっ平ら。トーンアームの上下動も皆無に近く、カートリッジのトレース能力をフルに発揮させます。

■また、この吸着により、レコード盤は重量級プラッターと一体となるために有害なレコード盤の共振も排除されるとともに、カートリッジの針先から見てレコード盤が微動だにしない質量を持つことと等価となることで、カートリッジのトレース能力が、特に振幅の大きな低音域で飛躍的に高まるのです。



プラッターを浮上させるためのガラスベース面
ガラス面中央部はプラッターの中心を出すためのセンターシャフト
プラッター浮上中はセンターシャフトも一緒に浮上し、
機械的な接点を作りません

写真は Air Force One のものですが
すべてのモデルに共通した機構です

ベルトドライブの常識を超えた高い回転精度も Air Force シリーズの大きな特徴!

マイコンによる回転スピードモニターと自動調整回路、非伸縮性ベルトの採用による極めて高い回転精度

■《 Air Force 》シリーズは、ACシンクロナスモーターによるベルトドライブ方式を採用しています。ダイレクトドライブ方式はモーターのコギングによる音質の劣化から逃れるために、あえてベルトドライブ方式とし、その上でダイレクトドライブ並みの回転精度を出すためのテクノロジーを盛り込みました。

■《 Air Force 》シリーズでは、重量級プラッターを短時間で定速回転させ、かつ回転の安定性を確保する上から、伸びのない布ベルトドライブを採用しました。材質は表面を研磨して高い平滑度をもたせたポリウレタン繊維による4mm幅の平ベルトで、静粛性にも耐久性にも優れています。

モーター部を本体から独立させることにより振動アイソレーションをさらに完全に!

■モーターは強固な独立筐体に収められ、本体シャーシから隔離して設置されることにより、モーターの振動を完全にアイソレーションしています。

■回転スピードは33.3rpm/45rpm切り替えが可能です。さらに各定速に対し、±0.1%ステップでの速度微調整機能を装備しています。

ドライブベルトのテンション調整を容易にするテンション調整モードを装備

■ドライブベルトのテンション調整は音質にも影響を及ぼす重要なファクターです。

《 Air Force 》では、テンション調整モードにより最適なベルトテンションを容易に調整可能です。

音質を最優先させた独自の定速回転システム

■《 Air Force 》シリーズの定速回転システムは大変に凝ったもので、音質に対して最大限の配慮を払っています。

■出力150Wクラスのパワーアンプでシンクロナスモーターを駆動。二組のパワーアンプを使用することにより正確な位相差のモータードライブ電流を供給。

■水晶発振器とデジタル・ダイレクトシンセサイザーにより、シンクロナスモーターを駆動する電流の周波数を制御することでモーターの回転スピードをコントロール。

■一方でプラッターの回転スピードはベース面に埋め込まれた非接触センサーで常にモニタリングされています。

■起動時はマイクロプロセッサからの指令で、パワーアンプの出力を上げトルクアップ。非接触センサーが正しい回転スピードを検知すると、パワーアンプの出力を下げモータートルクを最小限にするとともに、デジタル・ダイレクトシンセサイザーの周波数も固定されモーターの回転スピードがロックされ定速回転モードに入ります。

■定速回転中のスピードはモーターの回転スピードによって決まり、この状態では何のサーボもかかっていないのが大きな特徴です。ただし非接触センサーは常に回転スピードを監視しています。

■非接触センサーがプラッター回転スピードの変化を察知すると、マイクロプロセッサは所用回転スピードとの差分をデジタル・ダイレクトシンセサイザーに伝えモータースピードをコントロール。再び正しい回転スピードを得たところで定速回転モードに切り替わります。



本体から分離し頑丈な独立ケースに収められたモーター部
本体との接点はベルトのみとなります。

写真は Air Force One のものですが
すべてのモデルに共通した特徴です。

Air Force One

P r e m i u m

サウンドと操作性、外観仕上げに新たな着想とテクノロジーを注入した上位モデル

Air Force One Premium は、本体ユニット（モーター部を含む）、電源/ポンプユニット、エアコンデンサー/エアチャージユニットの3筐体で構成されます

製品にはトーンアームおよびカートリッジは付属しておりません。別途ご準備ください。

- ・ チタニウム・アッパーブラッターモデル
- ・ 超超ジュラルミン・アッパーブラッターモデル



Air Force One をブラッシュアップしたプレミアムモデル。すべてにわたってさらなる高みに!

■Air Force Oneは発売開始以来、世界最高のアナログターンテーブルとして世界中で評価されております。この輝きは今でも全く色褪せることはありませんが、開発後数年を経てさらなる改善点を見出したということも事実です。これには使い勝手の改善ポイント、テクノロジーの進化に伴う音質的なブラッシュアップ、新たな加工技術による外観の進化、が含まれます。これらのポイントをすべて踏まえた上位モデルが、Air Force One Premium です。

エアサスペンションレベルモニターとエアチャージユニットによる、最適なエアサスペンション調整。

■Air Force Oneは空気を充填した完全なエアサスペンションを採用していることが大きな特徴ですが、自動車のタイヤと同様に時折ポンプで空気を補充する必要があります。Premiumでは、エアサスペンションのレベルを常にモニターしエア充填が必要になるとインジケータで知らせる機能を装備いたしました。

■さらにエア充填専用の電動ポンプを装備。適正量のエアが充填されると自動的にストップする自動コントロール機能により、煩わしい調整の必要をなくしています。

エアコンデンサーの容量を従来比2倍に拡大。エアフローがさらに平坦になりサウンドはさらにダイナミックに。

■ブラッター浮上とディスク吸着をになうエアフローを均一にするための重要な機構が、いったん空気を溜めるエアコンデンサーです。オリジナルAir Force Oneでも必要かつ十分な容量のエアコンデンサーを装備していますが、さらなる音質追求の結果、エアコンデンサー容量をさらに増やすことでサウンドがさらにダイナミックになることを突きとめました。

■Premiumではエアコンデンサー容量を従来の2倍に拡大。静粛性、ダイナミクスすべてにわたりサウンドはさらなる高みに到達いたしました。

金属部品にあつた研磨技術による光沢仕上げを採用。さらに洗練された外観も魅力です。

■Premiumではシャーシを構成するアルミ材に、新たに表面研磨による光沢仕上げを採用いたしました。金属の深い光沢による洗練された外観デザインも魅力のひとつです。

アッパーブラッターは、光沢仕上げのチタニウムのほかに超超ジュラルミン(A7075)も選択可能。

■アッパーブラッターのチョイスは標準の純チタニウム材の他に、超超ジュラルミン材(A7075)も選択可能です。注文時にご指定ください。

テーパード・スピンドルを採用。また、専用ディスクスタビライザーを付属。

■レコード盤センター穴のがたつきを吸収するテーパード・スピンドルを採用。また、Premiumのスピンドルにジャストフィットするディスクスタビライザーを標準付属。



Air Force One Premium を専用ラック(オプション)にセットアップした状態

ラック中段のボックスがエアコンデンサー/エアチャージユニット

ラック下段のボックスが電源/ポンプユニット

Air Force One

アナログ再生の常識を塗り替えた、 ありえないほどの静寂性とダイナミックレンジ

Air Force One は、本体ユニット（モーター部を含む）、電源/ポンプユニット、エアコンデンサーユニットの3筐体で構成されます

製品にはトーンアームおよびカートリッジは付属しておりません。
別途ご準備ください。



3点支持の大型エアサスペンション により外部振動を完全遮断。

■アナログターンテーブルにとって最も厄介な問題のひとつは床からの振動をいかに遮断するかです。同じ床面に設置したスピーカーの振動や人の動きなどで生じる振動がターンテーブルに伝わると、音質に悪影響を及ぼすばかりか、さまざまな問題の原因となります。多くのターンテーブルでは、スプリングや緩衝材などで床からの振動遮断を計りますが Air Force Oneでは、機械的な結合を最小とすることができるエアサスペンションを採用しています。この優れたサスペンション方式による外部振動遮断がサウンドの静寂性に大きく寄与しています。

本機はターンテーブル本体のほか、 エアポンプ+電源ユニット、および エアコンデンサーユニットで構成。

■Air Force One はターンテーブル本体のほかに、2つの筐体ユニットで構成されます。ひとつは電動エアポンプと電源部を内蔵したユニットです。プラッター浮上用とディスク吸着用に2つのエアポンプがそれぞれダイキャスト製ケースに封入され特殊なゴム製サスペンションを介して固定されています。

■もうひとつは、ポンプからの空気をいったん溜め込んで送り出すためのエアコンデンサーユニットです。エアの脈流を取り去り十分に平坦なエアフローを得ています。

本体シャーシは異種材を組み合わせた 計43kgに達する3層構造。重量級シャーシが音の土台を構築。

■本体シャーシは物性の異なる2種類のアルミ合金による3層サンドイッチ構造とし固有共振の発生を抑えています。最下部のベースシャーシとトップシャーシはマグネシウムとの合金であるA5052材を採用。中心部には超超ジュラルミンと呼ばれる、最強の強度を持ち振動減衰特性にも優れたA7075材を採用。シャーシの重量は合計で43kgにも達し、あらゆる音楽の土台をしっかりと支える役割を果たしています。

プラッターはメインとアッパーの組み合わせで構成。アッパープラッターは選択可能。

■ターンテーブルプラッターも重量級シャーシに相応しく超重量級です。プラッターはメインプラッターの上部にアッパープラッターを組み合わせた構造を採用しており、内部には約1.1リットルのエアチャンバーを有しています。ディスク吸着時にはこのエアチャンバーでエアリップルを排除するとともに、負圧により共振・共鳴の発生をさらに抑えています。

■メインプラッターは非磁性ステンレスSUS316材を極めて入念に鍛造加工した贅沢なもので、重量は19kgに達し、回転時には極めて大きなイナーシャを生み出します。

■アッパープラッターには音質の好みに応じて選択できるよう2種類の材質を用意しています。



アッパープラッターのチョイス

超超ジュラルミン(A7075) 4 kg
非磁性ステンレス(SUS316L) 11 kg



メインプラッター

非磁性ステンレス SUS316L 19 kg

Air Force Two

リファレンス機 Air Force One の特徴を 確実に受け継いだスタンダードモデル

Air Force Two は、本体ユニット（モーター部を含む）、電源/ポンプ/エアコンデンサーユニットの2筐体で構成されます

製品にはトーンアームおよびカートリッジは付属しておりません。別途ご準備ください。



上級機の高性能を継承するとともに、格段のロープライス化も実現した魅力あふれる真のジュニア機。

■Air Force Two は、リファレンスモデル Air Force One で確立した TechDAS 独自のエアートクノロジーをもっと低価格でご提供するために開発されたモデルです。《Air Force》の核となるエアークリアリング機構とディスク吸着機構はそのまま踏襲しつつ、製作コストを半減させる取り組みに果敢に挑みました。結果として、シャーシの製造方法からデザイン面にいたるまで、ほぼ全てを新設計することとなりましたが、大変コストパフォーマンスの高い魅力的な一品として完成させることができました。

性能を犠牲にすることなく
大幅なコストダウンを成功させた
アルミ精密鑄造による本体シャーシ

■ターンテーブルのシャーシには重量が要求されますので金属製としたいところ



精密鑄造によるアルミシャーシ 上・下



ですが CNC マシンによる切削加工ではコストがかかり過ぎます。そこで本機はアルミ (AC4C) による精密鑄造でシャーシを製造いたしました。

■上部ピースと下部ピースとによる 2 層構造の鑄造シャーシの総重量は 32.6kg に達し、この重量級の本体シャーシが、エネルギーたっぷりの音楽の土台をしっかりと支えます。

ソリッドアルミニウムから切削した、
重量級プラッター。もちろんエアークリア
リング機構とディスク吸着を装備。

■ターンテーブルプラッターは無垢アルミ材を切削加工した重量 10kg の重量級です。十分に大きなイナーシャと空気力によるエアークリアリング機構により、きわめて静粛かつ滑らかな回転を得ています。

■ディスク吸着機構によりレコード盤はプラッターに吸着され、反りのあるレコードでもまっ平らとなるとともに、重量級プラッターとレコード盤が一体となることでカートリッジのトレース能力が格段に高まります。

本機のために新たに開発した
ハイブリッド・スプリングサスペンションによる 4 本脚部

■Air Force One で採用したエアーススペンションは振動遮断能力に優れていますが、定期的な空気注入が必要なことや、その際の水平調整が必要なことから、どんな方でも簡単に使用できるというわけには

いきませんでした。そこで Air Force Two の開発にあたっては、同等の性能を維持しながらメンテナンスフリー化を実現させることを主眼として新たなサスペンションの開発を敢行いたしました。

■新たに開発したサスペンションは、エアを封入した上部チャンバーと、スプリングを内蔵し内部にオイルを封入した、下部のゴム製ダイヤフラムで構成されます。そのダイヤフラムは、小さな貫通孔を介して上部のチャンバーと接続しており、スプリングの運動をダイヤフラム内のオイルと、チャンバー内のエアでダンピングすることにより、大きな振動遮断効果を生み出させます。長期にわたる使いこなしの容易さでは、上級機に勝る優れたサスペンション構造です。



Air Force Two 用に開発された
ハイブリッド・サスペンション

中央のダイヤフラム部にスプリングとオイルを封入
上部チャンバー内のエアとダイヤフラム内のオイルとで
スプリングを制動

Air Force III

Air Force テクノロジーを受け継ぎ、しかも 新たな魅力をも兼ね備えた実力モデル

Air Force III は、本体ユニット (モーター部を含む)、
電源/ポンプ/エアコンデンサーユニットの2筐体で構成されます

製品にはトーンアームおよびカートリッジは付属していません。
別途ご準備ください。



セッティングの自由度に最大限配慮したミニマム設計のアルミ切削重量級シャーシ

■ Air Force III では、設置の柔軟性を確保するためにシャーシ寸法を必要最小限度にまで小型化したしました。ただしシャーシの重量は再生音の安定性と低域信号の正確なトレース性能にもろに効いてきますので、Air Force One と同様に無垢アルミブロックからの切削で製作することにより、シャーシに必要な重量を確保いたしました。Air Force III のシャーシ重量は、小さなボディにもかかわらず21kgの重量があります。

トーンアーム装着の自由度が大幅に向上。最大4本のトーンアームを装着可能で、ショート・ロングの選択も自由自在。

■ 上位モデルにない Air Force III だけの特徴として、トーンアーム装着の自由度が

大幅に向上いたしました。最大で4本のトーンアーム装着が可能で、しかも、ロング・ショート of の選択も自由自在というフレキシビリティは他のモデルにはない大きな特徴です。

ピンポイントスパイクとエアードンパーによるサスペンションで、十全のハウリングマージンを確保。

■ エアードンパーを組みこんだゴムサスペンションでシャーシのコーナー4点を支持。シャーシ荷重はピンポイントスパイクを介しサスペンションにかかる独自の構造により、抜群のハウリングマージンを確保しています。

■ トーンアームベースはピンポイントスパイクとサスペンションに直結するポストを介して強固に固定され、振動の基準点が明確化されることによりトレース能力を最大限引き出します。

ソリッドアルミニウムから切削した、重量級ブラッター。もちろんエアベアリング機構とディスク吸着を装備。

■ ターンテーブルブラッターは、無垢アルミ材を切削加工した重量9kgの重量級です。十分に大きなイナーシャと空気力によるエアベアリング機構により、きわめて静粛かつ滑らかな回転を得ています。

■ ディスク吸着機構によりレコード盤はブラッターに吸着され、反りのあるレコードでもまっ平らになるとともに、重量級ブラッターとレコード盤が一体となることでカートリッジのトレース能力が格段に高まります。

Air Force シリーズの真価をより発揮させるアクセサリ・オプション



ディスクスタビライザー
¥ 68,000 (税別)

盤面上のマイクロな振動を吸収。
サウンドの静粛性が向上し、
ダイナミクスがさらに改善いたします。
直径 82.5 mm, 重量 540 g

※ Air Force One Premium
には標準付属されます



特殊アクリル製ダンピングテーブル
¥ 550,000 (税別)

振動吸収性に優れた
特殊アクリル製テーブル
ターンテーブル本体の設置に最適な
プラットフォームを提供いたします。
寸法 716(W) x 483(D) x 30(T) mm



Air Force シリーズ専用ラック ¥ 1,580,000 (税別)
ハイエンドラックブランド Artesania Audio と共同開発した専用ラック。
完全な振動アインレーション構造による、盤石の安定性。

《製品規格一覧》

AIR FORCE ONE Premium

■ターンテーブル本体 + モーター部

| | |
|--------------|---|
| 形式: | トーンアームレス・ターンテーブル |
| シャーン: | 異種アルミニウム合金 3層構造, 重量 43 kg |
| メインブラッター: | 非磁性鍛造加工ステンレス(SUS316L), 重量 19 kg |
| アップブラッター: | 2種より選択可 |
| | 超超ジュラルミン(A7075) 4kg |
| | 表面特殊効果処理・純子タン 6 kg |
| | (A7075アップブラッター装着時) 3,027 kg・cm ² |
| | (チタンアップブラッター装着時) 3,290 kg・cm ² |
| 総慣性モーメント | 布ベルトドライブ (特殊表面研磨ポリエステルベルト) |
| | ACシンクロナスモーター |
| | パワーアンプ駆動回転制御方式 |
| 駆動方式: | 33.3rpm / 45rpm スイッチ切替え式、 |
| 駆動モーター: | 回転スピード微調整機構付き |
| モーター電源: | 0.03%以下 |
| 回転数: | 73kg (標準値・A7075アップブラッター装着時) |
| | 680(W)×480(D)mm |
| ワウフラッター: | |
| 本体総重量: | |
| 設置に必要な寸法の目安: | |

AIR FORCE ONE

■ターンテーブル本体 + モーター部

| | |
|--------------|---|
| 形式: | トーンアームレス・ターンテーブル |
| シャーン: | 異種アルミニウム合金 3層構造, 重量 43 kg |
| メインブラッター: | 非磁性鍛造加工ステンレス(SUS316L), 重量 19 kg |
| アップブラッター: | 下記3種より選択 |
| | 超超ジュラルミン(A7075) 4kg |
| | ステンレス (SUS316L) 11kg |
| | (A7075アップブラッター装着時) 3,015 kg・cm ² |
| | (SUS316Lアップブラッター装着時) 3,794 kg・cm ² |
| 総慣性モーメント | 布ベルトドライブ (特殊表面研磨ポリエステルベルト) |
| | ACシンクロナスモーター |
| | パワーアンプ駆動回転制御方式 |
| 駆動方式: | 33.3rpm / 45rpm スイッチ切替え式、 |
| 駆動モーター: | 回転スピード微調整機構付き |
| モーター電源: | 0.03%以下 |
| 回転数: | 73kg (標準値・A7075アップブラッター装着時) |
| | 680(W)×480(D)mm |
| ワウフラッター: | |
| 本体総重量: | |
| 設置に必要な寸法の目安: | |

AIR FORCE Two

■ターンテーブル本体 + モーター部

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 形式: | トーンアームレス・ターンテーブル |
| シャーン: | 鋳造アルミニウム(AC4C), 塗装仕上げ, 重量 33 kg |
| ブラッター: | アルミニウム(A5056)精密切削加工, 重量 10 kg |
| 総慣性モーメント | 1,244 kg・cm ² |
| 駆動方式: | 布ベルトドライブ (特殊表面研磨ポリエステルベルト) |
| 駆動モーター: | ACシンクロナスモーター |
| モーター電源: | パワーアンプ駆動回転制御方式 |
| 回転数: | 33.3rpm / 45rpm スイッチ切替え式、 |
| | 回転スピード微調整機構付き |
| ワウフラッター: | 0.03%以下 |
| 本体総重量: | 47kg (標準値) |
| 設置に必要な寸法の目安: | 685(W)×460(D)mm |

AIR FORCE III

■ターンテーブル本体 + モーター部

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 形式: | トーンアームレス・ターンテーブル |
| シャーン: | アルミニウム(A5056)精密切削加工, 重量 21 kg |
| ブラッター: | アルミニウム(A5056)精密切削加工, 重量 9 kg |
| 総慣性モーメント | 1,052 kg・cm ² |
| 駆動方式: | 布ベルトドライブ (特殊表面研磨ポリエステルベルト) |
| 駆動モーター: | ACシンクロナスモーター |
| モーター電源: | パワーアンプ駆動回転制御方式 |
| 回転数: | 33.3rpm / 45rpm スイッチ切替え式、 |
| | 回転スピード微調整機構付き |
| ワウフラッター: | 0.03%以下 |
| 本体総重量: | 35kg (標準値) |
| 設置に必要な寸法の目安: | 550(W)×440(D)mm |

■エアーポンプ + 電源ユニット

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 消費電力 | 60W |
| 外形寸法・重量 | 430(W) x 160(H) x 240(D) mm, 10kg |
| | 設置時は奥行き方向に 300mm 必要 |

■エアーコンデンサー + エアチャージユニット

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 外形寸法・重量 | 430(W) x 160(H) x 240(D) mm, 10kg |
| | 設置時は奥行き方向に 300mm 必要 |

■付属品

トーンアームベースウッド x 1 (メインアーム用)
ご使用トーンアームに合わせて加工いたします
トーンアームによっては別途加工費がかかる場合があります

アクリル製ブラッターカバー
専用ディスクスタビライザー
ケーブル類一式、エアホース類一式、ブラッター交換用工具一式、取扱説明書

■オプション用品

追加用トーンアームベース (ステンレス)
追加用トーンアームベース (チタニウム)
専用ダンピングテーブル
Artesania Audio 製専用ラック

■エアーポンプ + 電源ユニット

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 消費電力 | 60W |
| 外形寸法・重量 | 430(W) x 160(H) x 240(D) mm, 10kg |
| | 設置時は奥行き方向に 300mm 必要 |

■エアーコンデンサーユニット

| | |
|---------|----------------------------------|
| 外形寸法・重量 | 260(W) x 160(H) x 240(D) mm, 4kg |
| | 設置時は奥行き方向に 280mm 必要 |

■付属品

トーンアームベースウッド x 1 (メインアーム用)
ご使用トーンアームに合わせて加工いたします。
トーンアームによっては別途加工費がかかる場合があります

アクリル製ブラッターカバー
サスペンション用エアーポンプ
ケーブル類一式、エアホース類一式、ブラッター交換用工具一式、取扱説明書

■オプション用品

追加用トーンアームベース (アルミ)
交換用アップブラッター 3種
専用ダンピングテーブル
Artesania Audio 製専用ラック
ディスクスタビライザー

■エアーポンプ + 電源 + エアーコンデンサーユニット

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 消費電力 | 50W |
| 外形寸法・重量 | 430(W) x 160(H) x 240(D) mm, 10kg |
| | 設置時は奥行き方向に 300mm 必要 |

■付属品

トーンアームベースウッド x 1 (メインアーム用)
ご使用トーンアームに合わせて加工いたします。
トーンアームによっては別途加工費がかかる場合があります

アクリル製ブラッターカバー
ケーブル類一式、エアホース類一式、ブラッター交換用工具一式、取扱説明書

■オプション用品

セカンドトーンアーム用ベース
専用ダンピングテーブル
ディスクスタビライザー
Artesania Audio 製専用ラック

■エアーポンプ + 電源 + エアーコンデンサーユニット

| | |
|---------|----------------------------------|
| 消費電力 | 50W |
| 外形寸法・重量 | 350(W) x 160(H) x 270(D) mm, 9kg |
| | 設置時は奥行き方向に 300mm 必要 |

■付属品

トーンアームベース x 1 (メインアーム用)
ご使用トーンアームに合わせて加工いたします
トーンアームによっては別途加工費がかかる場合があります

アクリル製ブラッターカバー
ケーブル類一式、エアホース類一式、ブラッター交換用工具一式、取扱説明書

■オプション用品

追加用トーンアームベース
ディスクスタビライザー

製造・販売元

株式会社 ステラ 〒173-0026 東京都板橋区中丸町51-10 Tel.03-3958-9333 Fax.03-3958-9322
http://www.stella-inc.com
e-info@stella-inc.com